



かねだ勝年 国政報告NEWS

平成26年4月

第186回 通常国会半ばに…活動報告(26-No. 3)



安倍総理との質疑に臨むかねだ代議員
(先般の衆・予算委員会より)

本年1月に開会した通常国会も、会期半ば(会期は150日間、6月22日まで)を迎えております。

この間、かねだ代議員は、党内では政務調査会副会長(筆頭)として、100本を超える通常国会提出法案の事前審議に携わっております。

また、先般は、衆議院・予算委員会の理事として、平成25年度補正予算と平成26年度本予算の早期成立に大きく貢献を果たしました。

予算の早期成立と切れ目のない執行は、消費税増税による経済の腰折れ阻止のためにも、また、全国津々浦々にアベノミクスによる景気回復の効果を実現する上でも、非常に意義のあることであります。

我が国は、内政・外交共に取り組まなければならない課題が山積しておりますが、かねだ代議員は、これからも、日本経済の再生と地域の活力を取り戻すべく頑張っております。

衆・予算委員会より。理事として、
予算委員長に代わって委員会の進行も担当。



各省ごとに分かれて予算の審議を行う予算委員会分科会。
その分科会の主査として、省庁別の細かな予算審議も担当。
(写真 左:岸田外務大臣 / 右:谷垣法務大臣)



党政務調査会役員会より。
高市政調会長らと法案審査を差配。



東北出身衆参両院議員による総会
では、幹事長として大島会長・根本
復興大臣らと、東北の早期復興を審査。



国会活動の合間には、地元から
上京してきた中学生らと会い、
国会を説明。

